

コンクリート工事施工計画書 (建築基準法第 12 条第 5 項、横浜市施行細則第 17 条の 3)

提出日	平成 年 月 日						
建築主	住所名 氏名						
工事監理者	住所 資格 () 級建築士事務所(大臣・知事) 登録 第 号 (電話)						
	事務所 資格 () 級建築士 (大臣・知事) 登録 第 号						
工事施工者	住所 資格 建設業の許可(大臣・知事) 登録 第 号 (電話)	会社名 代表者名			印		
工事概要	工事名称						
	建築確認番号	平成 年 月 日 第 号 当初確認番号 ()					
	建築場所						
	構造	造	規模	地上 / 地下 階	延面積 m ²		
設計かぶり 厚さ (c m)	部 位	土に接しない部分			土に接する部分		
	柱	屋外		屋内			
	屋根版	上端		下端			
	床版	上端		下端			
	はり	屋外		屋内			
	耐力壁	屋外		屋内			
	非耐力壁	屋外		屋内			
圧送従事者	氏名				会社名		
	安全衛生法の特別教育	修了	・	未修了	会社住所		
	コンクリート圧送施工技能士	1 級	・	級 ・ 無	会社電話		
圧送・配置計画	検討中・承認済み (年 月 日) (ポンプと打設面の関係、 ポンプ、 ミキサー車、 など)						
使用材料	セメント	品名・(種別)・製造工場	混和材料	品名・(種別)	レディー ミクス ト コン クリ ート	製造会社・工場名	
						JIS 表示許可番号	工事現場までの所要時間
	細骨材	産地	アルカリ骨材反応 試験方法・判定	粗骨材	産地	アルカリ骨材反応 試験方法・判定	
産地 □川砂 □山砂 □陸砂 □砕砂 □海砂		合・否 否の場合は次頁のアルカリ 骨材反応対策を「有」に してその方法を記入すること	産地 □川砂 □山砂 □陸砂 □砕砂		合・否 否の場合は次頁のアルカリ 骨材反応対策を「有」に してその方法を記入すること		

調 合 計 画	番号	打設部位	打設時期	コンクリートの種類	設計強度 (N/mm ²)	呼び強度 (N/mm ²)	スラップ (cm)	空気量 (%)	水セメント比 (%)	単位水量 (kg/m ³)	細骨材率 (%)
	1										
	2										
	3										
	4										
	5										
	6										
	7										
打 込 計 画 等	調査計画番号										
	打設箇所										
	打設年月日										
	打込容積 (m ³)										
	打込方法										
	予定試験回数										
	容積計		普通		m ³	軽量		m ³	合計		m ³
鉄 筋 の 継 手	<input type="checkbox"/> 圧接継手		使用箇所		試験方法			抜取検査	ロットの大きさ サンプリング数	箇所 箇所	
	<input type="checkbox"/> 溶接継手(方法)		使用箇所		試験方法			抜取検査	ロットの大きさ サンプリング数	箇所 箇所	
	<input type="checkbox"/> 機械式継手(方法)		使用箇所		試験方法			抜取検査	ロットの大きさ サンプリング数	箇所 箇所	
コン ク リ ー ト 劣 化 対 策	塩化物量の予測					塩害対策 (有・無)					
	() 0.3kg/m ³ 以下					() 調 合 (W/C %、スラップ cm)					
	() 0.3kg/m ³ を超え 0.6kg/m ³ 以下					() 防 せい 剤 ()					
	() 0.6kg/m ³ を超える					() 床 下 端 の 鉄 筋 の か ぶ り 厚 さ cm					
	() その他 ()					() その他 ()					
	塩害の要因 (有・無)					アルカリ骨材反応対策 (有・無)					
() 海砂					() 無害骨材の使用						
() 練り混ぜ水					() 低アルカリ形セメントの使用						
() その他 ()					() アルカリ総量 kg/m ³ 以下						
混和剤					() 混合セメントの使用						
					() その他 ()						
塩分量			合	否							
全アルカリ量			合	否							